

SONY

1987・11月現在

カセットデッキ 総合カタログ

TC-K555ESX ¥105,000(ワイヤレスリモコン付属)/TC-K777ESII ¥168,000/TC-K333ESX ¥85,000
TC-R303 ¥39,800/TC-R502 ¥69,800/TC-WR950 ¥95,000(ワイヤレスリモコン付属)
TC-WR750 ¥59,800/TC-AV1 ¥54,800



アーティストの心の動きまでも再現したい。リスナーが使いやすさを実感できる高度な操作性を獲得したい。そのために、デジタル時代のデッキのあり方を本質から問い直しました。音質に、機能に、ハイポテンシャルなクオリティをもつソニーの新世代カセットデッキ・ラインアップ。そのひとつひとつに、音楽へのはかり知れない情熱が結晶しています。



デジタル時代の新しいリファレンスとしての理想像を求めて、 音質向上の可能性を根本から問い直し、 新たな発想でアプローチした次世代のESデッキです。

CD全盛時代を迎えようとしている今、そして、これからのカセットデッキのあるべき姿、理想形を求める。

K555ESXの開発にあたって、ソニーはこのテーマを具体化するため、すでに常識化した手法、発想を捨て、大胆にアプローチ。不要振動の排除、シンプル&ストレート伝送など、オーディオ機器すべてに通じる基本部分を新たな視点で見直すことから着手したのです。

その結論として生まれたのが、メカデッキと電源部をシャーシ中央に配置し、システムコントロール系とオーディオ回路を左右に分離した、

ミッドシップドライブ・システム。結果的に、パネルフェイスも従来のESデッキとはまったく異なるものになりました。

次世代のリファレンス、そして、これからのデッキの新しいスタイルを指標に、ドラスティックな変貌を遂げたK555ESX。

しかし、その根底に流れる設計思想は、「デッキの生命はあくまで音質」、このESシリーズ不変のポリシーに他なりません。

ES



新たな発想で、カセットデッキの理想形を追求した
ミッドシップドライブ・システム。

K555ESXの内部コンストラクションは、中央にメカデッキと電源部、両サイドにオーディオ回路と操作コントロール系を分離して配置した構成になっています。その狙いは、①内部振動および外部からの振動を断つ剛体構造の実現。②各部の相互干渉の徹底排除。③信号伝送をさらにシンプル&ストレート化する。すなわち、K555ESIIやK777ESIIで得た成果を、オーディオコンポーネント設計の原点を厳しく見つめ直して再構築しようというもの。そのために、新たな発想で、デジタル時代の新しいリファレンス機としての素質を磨き抜いているのです。

■理想的なウェイトバランスと剛体構造の追求

従来、多くのカセットデッキでは、総重量に占める割合の大きいメカデッキと電源部が、シャーシ左右いずれかに片

寄った状態で配置されていました。しかし、機器全体を高剛性化して音を汚す不要振動を排除するためには、ウェイトバランスも重要なポイントとなります。K555ESXでは、とくにこの点に着目。メカデッキおよび電源部を中央に配置した、ミッドシップドライブ・システムを採用する最大の要因となりました。これにより、4個の脚部にほぼ均等な重量がかかる良好なウェイトバランスを実現。しかも、シャーシ内部はメカデッキと電源部を取付けたU字型のインナーシャーシではば3等分されているため、トータルな剛性も格段に向上。また、各回路のプリント基板の取付けスパンを短くできるなど、不要振動の排除に数々のメリットをもたらしています。

■相互干渉を断つレイアウトおよびノンループ・サーキット
内部レイアウトは、メカデッキと電源部を中央に、左にシステムコントロール系、右にオーディオ回路を配置し、カウンターを含む走行系の操作部とアンプ系操作部も左右に分離。

各ブロック間の相互干渉や共振を大幅に低減できると同時に、電源供給の効率の面から見ててもきわめて有利なレイアウトといえます。また、電気的にも、オーディオ信号系、コントロール信号系、そして電源系統の3つのブロックのアイソレーションを徹底。各ブロックにまたがるループを追放し、ノイズなどの悪影響を極限まで抑えています。

■シンプル&ストレート伝送に徹したオーディオ回路

オーディオ回路は、録音アンプと再生アンプを独立した基板上にまとめ、十分に距離をもたせて上下2段に配置。両アンプ間の干渉をより厳密に抑えています。また、録音アンプを下段に配置して、リアパネルの入出力端子とフロントパネルの操作部を直結させるなど、シンプル&ストレート伝送を一段と徹底。さらに、全段L・Rツインモノ/DCアンプ構成として、チャンネル間の干渉を断つなど、ESシリーズ不変の音質最優先の姿勢を細部にまで貫いています。

ES より豊かな「音楽の再現」をテーマに、K777ESをリファイン。プロ用マスター



●電源部は、2個の大型電源トランスを搭載して各部の電源を独立専用化。また、回路構成は、録音・再生フラットアンプを全段L・Rツインモノ構造のDCアンプとし、ヘッドと再生アンプはダイレクトカップリング。しかも、メーター回路などの分離や信号系のリレーの一扫など、シンプル&ストレート伝送をさらに徹底。ダイナミックレンジ拡大とひずみ低減を両立させました。

●さらに完成度を高めたLC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドを搭載。しかも、ソニー独自の独立懸架3ヘッド方式で、その能力を最大限に引き出し、デジタルソース

LC-OFC巻線レーザアモルファスヘッドによる

ソニー独自の独立懸架3ヘッド方式。

コイル巻線にLC-OFCを使用し、一段と完成度を高めたLC-OFC巻線レーザアモルファスヘッド。K555ESXでは、その能力を、独立懸架3ヘッド方式で最大限に引きだしています。これは、録音、再生用それぞれのヘッドに正確なアジマス精度が得られ、しかもヘッドタッチも均一というソニー独自の方式。デジタルソースをはじめ録音ソースのクオリティが高くなるほど、真価を発揮します。

さらにメカニズム精度を高めたクォーツロックD.D.&クロズドループ・デュアルキャプスタン方式。

オープンリールデッキの技術を、いち早くソニーがカセットデッキに生かしたクロズドループ・デュアルキャプスタン方式。ヘッドを中心に配した2組のキャプスタンとピンチローラーでテープをはさみ込み、走行を安定化させる巧みなシステムです。ワウ・フラッター特性の向上、モジュレーションノイズの低減、きわめて安定したヘッドタッチの実現と、数々のメリットが得られます。しかも、キャプスタン駆動は、一段となめらかな回転特性が得られる新方式3相リニアトルクBSLモーター採用のダイレクトドライブ方式。さらに、カウンター方式のデジタルサーボ回路によるクォーツロックサーボで、ワウ・フラッター0.025%をクリアする優れた走行特性と高い信頼性を実現しました。

新開発ドルビーIC、大容量電源トランスなど、

厳選した高音質パーツを大量投入。

ドルビーNR・B-Cタイプを構成するICには、K777ESII用に開発したドルビーICを採用。ノイズリダクションON時の音質をきわめてナチュラルにしています。また、電源部にも、K777ESIIの設計思想を継承して、あり余るほどの容量をもつ大型電源トランスを搭載。さらに、信号系の線材にLC-OFCを多用するなど、使用パーツを厳選しています。

テープの能力をフルに引きだせる

バイアスおよび録音レベル・キャリブレーション。

テープの飛躍的な高性能化に応え、その潜在能力を最大限に引きだす。そのためにK555ESXには、使用テープごとに録音バイアス値を±20%の範囲で微調整できるバイアスキャリブレーション機能、およびテープ感度による録音・再生のレベル差をなくす録音レベルキャリブレーション機能を装備。テープの能力を生かし、ドルビーNRの効果をフルに発揮させることが可能。また、キャリブレーション時は、レベルメーターが調整モードに切り替わります。

3ポジションの録音イコライザー切替えスイッチ。

K555ESXは、録音イコライザーの高域特性を、3段階



(LOW/NORMAL/HIGH)に切替え可能です。同タイプでも微妙に異なるテープの周波数特性に合わせて、録音特性をより厳密に調整できます。

●ワイヤレスリモコンRM-99付属。録音/再生、早送り/巻戻しなどのテープ走行操作に加え、カウンターのリセット、メモリーもリスニングポジションから行えます。

●従来のカウンター[0.00]での動作に加え、メモリーボタンを押した時点を実作点とするメモリーストップ/プレイが可能。リセットボタンを押してもこのメモリー点は維持されるため、リニア電子カウンターの減算機能を利用すればテープ3ヘッド・カセットデッキ

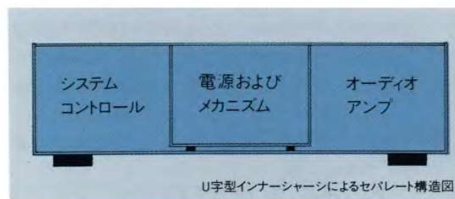
ブ途中からの残量時間が確認できるほか、曲の頭を記憶させておくなど、便利なマーカーとして利用できます。

●-40~+8dBのワイドレンジで、ピークホールドとリアルタイムのピーク値を同時表示する多機能ピークプログラムメーター。キャリブレーション時には専用メーターとして動作●TYPE II/IV対応のオートテープセクター●減算機能つきリニア電子カウンター●MPXフィルタースイッチ●オートスペースつきREC MUTE●カセットローディング時のテープのたるみ防止機能●別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生●出力可変ヘッドホン端子

TC-K555ESX

¥105,000 (ワイヤレスリモコン RM-99付属)

主な仕様 ●ヘッド：消去1、録音1、再生1 ●モーター：リニアトルクBSL D.D.モーター1、DCモーター1 ●SN比：※56dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット)、73dB (ドルビーNR-Cタイプ、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●周波数特性：※20~20,000Hz±3dB (METAL-Sカセット) ●周波数範囲：※15~22,000Hz (METAL-Sカセット) ●ワウ・フラッター：※±0.04% Wpeak, 0.025% WRMS ●ひずみ率：※0.5% (METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×125(高さ)×350(奥行き)mm ●重さ：8.9kg ●消費電力：27W ※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。



U字型インナーシャーシによるセパレート構造図



キャリブレーション調整時のレベルメーター



付属のワイヤレスリモコンRM-99

レコーダーのクオリティをめざしたデジタル時代の新しいプレステージ・デッキです。

のクオリティを余すところなく捉えます。

●高精度なテープ走行を実現するクロズドループ・デュアルキャプスタン方式、およびリニアトルクBSLモーターによるクォーツロック・ダイレクトドライブ方式を採用。音響用モーターとしての優れた特性が相乗して、ワウ・フラッター±0.035% Wpeakのすばらしいスペックを得ています。●基本シャーシは、防振構造のカッパータイト(銅メッキ)シャーシ。また、ダイキャスト製ヘッド基台や振動分散メカブロックで不要振動の影響を排除しています。●新開発ドルビーIC、LC-OFC線材などの厳選パーツ

を大量投入●録音レベルと±20%のバイアスキャリブレーション(調整時は、レベルメーターが調整モードで動作)

●-40~+10dBのワイドレンジでピークホールドも同時表示する多機能ピークプログラムメーター●ドルビーNR・

B-Cタイプ●別売タイマーによる連続留守録音/目覚まし再生●別売ユニットRM-88(¥10,000)によるワイヤレスリモコン可能●固定/可変の2系統のラインアウト端子。可変出力はヘッドホン出力と連動

3ヘッド・カセットデッキ

TC-K777ESII ¥168,000

主な仕様 ●ヘッド：消去1、録音1、再生1 ●モーター：リニアトルクBSL D.D.モーター1、リニアトルクBSLモーター1 ●SN比：※57dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット)、74dB (ドルビーNR-Cタイプ、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●周波数特性：※15~19,000Hz±3dB (METAL-Sカセット) ●周波数範囲：※10~20,000Hz (METAL-Sカセット) ●ワウ・フラッター：※±0.035% Wpeak, 0.02% WRMS ●ひずみ率：※0.3% (METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×105(高さ)×390(奥行き)mm ●重さ：10.8kg ●消費電力：38W ※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

次世代のリファレンスK555ESXの設計思想を忠実に継承。 これからのデッキの姿を指標するミッドシップドライブ・システムを 採用した"ES"シリーズの新しいスタンダード・デッキです。

これからのカセットデッキの理想像を提示する、新リファレンス機K555ESXの設計思想とノウハウを忠実に継承したK333ESX。

その核となるミッドシップドライブ・システムは、不要振動の排除やシンプル&ストレート伝送の徹底など、

音質向上の可能性を、オーディオ機器設計の原点から新たな視点で見つめ直した結論といえるものです。

その成果は、デジタル時代の新しいスタンダード・デッキとしての素晴らしいサウンドクオリティに聴き取っていただけるはずです。

ES



これらのカセットデッキの理想形を求めて、新たな発想でアプローチしたミッドシップドライブ・システム。

理想的なウェイトバランスと剛体構造の追求：機器全体を高剛性化し、音を汚す不要振動を厳密に排除する。そのためには、ウェイトバランスが重要なポイントになります。そこで、ミッドシップドライブ・システムでは、デッキの総重量に占める割合の大きいメカデッキと電源部をシャーシ中央に配置し、操作コントロール系とオーディオ回路を左右両サイドに分離した構成となっています。これにより、4個の脚部にほぼ均等な重量がかかる良好なウェイトバランスを実現。しかも、シャーシ内部をメカデッキと電源部を取付けたU字型のインナーシャーシでほぼ3等分し、トータルな剛性が格段に向上。きわめて防振性の高い剛体構造を得るとともに、各ブロック間の相互干渉や共振を大幅に低減しました。シンプル&ストレート伝送に徹したオーディオ回路：オーディオ回路は、録音アンプと再生アンプを独立した基板にまとめ、十分に距離をもたせて上下2段に配置。両アンプ間の干渉をより厳密に抑えるとともに、全段L・RツインモノDCアンプ構成としてチャンネル間の干渉も断っています。また、オーディオ信号系、コントロール信号系と電源系統の2つのブロックの電氣的なアイソレーションを徹底。さらに、十分な容量をもつ大型電源トランスの搭載など、音質優先の姿勢を細部まで貫きました。

LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドを

搭載した独立懸架3ヘッド方式。

独立懸架3ヘッド方式は、録音、再生用それぞれのヘッドに正確なアジャスト精度が得られ、しかもヘッドタッチも均一というソニー独自の方式。高精度なテープ走行メカニズムと相まって、一段と完成度を高めたLC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドの能力をフルに引き出し、デジタルソースのクオリティを鮮やかに捉えます。

安定したテープ走行を実現するクォーツロックD.D.&クロズドループ・デュアルキャプスタン方式。

ヘッドを中心に配した2組のキャプスタンとピンチローラーでテープをはさみ込むクロズドループ・デュアルキャプスタン方式。ワウ・フラッター特性の向上、モジュレーションノイズの低減、ヘッドタッチの安定化など、数々のメリットが得られます。しかもキャプスタン駆動は、一段とめらかな回転特性をもつ新方式3相リニアトルクBSLモーターによるダ

3ヘッド・カセットデッキ

TC-K333ESX ¥85,000

主な仕様 ●ヘッド：消去1、録音1、再生1 ●モーター：リニアトルクBSL D.D.モーター1、DCモーター1 ●SN比：※56dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット)、73dB(ドルビーNR-Cタイプ、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●周波数特性：※20~20,000Hz±3dB(METAL-Sカセット) ●周波数範囲：※15~22,000Hz(METAL-Sカセット) ●ワウ・フラッター：※±0.04%Wpeak、0.025%WRMS ●ひずみ率：※0.5%(METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×125(高さ)×350(奥行)mm ●重さ：8.2kg ●消費電力：27W ●印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

イレクトドライブ。さらにクォーツロック・サーボにより、ワウ・フラッター0.025%をクリアする優れた走行特性を実現しました。

●録音バイアス値を±20%の範囲で微調整できるバイアスキャリブレーション、および録音レベルキャリブレーションを装備。使用するテープの能力をフルに生かします。

●カウンター[0.00]に加え、メモリーボタンを押した時点を実動作点とするメモリーストップ/プレイが可能。このメモリー点はリセットボタンを押しても維持され、リニア電子カウンターの減算機能を利用してテープ途中からの残量時間を確認するなど、便利なマーカーとして利用できます。

●新開発ICによるドルビーNR-B・Cタイプ ●ピークホールドリアルタイムのピーク値を同時表示するワイドレンジ・ピークプログラムメーター ●TYPE I/II/IVのオートテープセレクト ●オートスペースつきREC MUTE ●カセットローディング時のテープたるみ防止機能 ●別売タイマーによる連続留守録音/再生 ●出力可変ヘッドホン端子

LC-OFC Laseramorphous Head

ソニーは、音質向上をめざし、カセットデッキ全モデル^{*}に、LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドを採用。

デジタル時代への新たな解答として、ソニーの35年におよぶ磁気ヘッドの基礎研究から生まれた「レーザーアモルファスヘッド」。これは、アモルファス磁性合金がもつ優れた磁気特性を高度な加工技術で生かした、まさにデジタル時代の高性能ヘッドです。ソニーは、このヘッドの完成度をさらに高めるため、ヘッド巻線にLC-OFC(線形結晶無酸素銅)を採用。LC-OFCは、第一種無酸素銅(純度99.995%以上)の結晶を巨大化して結晶境界の数を減らし、容量リアクタンスによるひずみ発生を激減させたものです。これにより、信号ロス、とくに中高域のロスも大幅に改善でき、音楽の微妙なニュ

アンスや雰囲気感の再現力を一段と高めました。ソニーは、このLC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドを、カセットデッキ全機種に搭載。デジタルソースのクオリティをフルに生かした録音/再生に不可欠の基本技術となっているのです。



- ① TC-K555ESXの独立懸架3ヘッド方式用LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッド
- ② TC-WR950のLC-OFC巻線レーザーアモルファス録再ヘッド
- ③ LC-OFC(上)と、通常のOFC(下)の結晶状態

^{*}1986年11月以降発売モデル

LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドの搭載をはじめ、 高度な基本性能とシンプルな操作性が魅力の ハイコストパフォーマンスな録再オートリバーステッキです。

TC-R303は、デジタルソースに対応するハイレベルな基本性能をベースに、豊富な機能を使いやすくとめた録再オートリバーステッキ。

LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドやドルビーNR・B-Cタイプの搭載など、きわめて高いコストパフォーマンスを誇ります。

長時間のBGMリスニングはもちろんのこと、カセットA・B両面にわたるFMエアチェックまで、

そのすばらしい音質と、シンプルな操作性で、テープ・ミュージックをますます楽しめます。

(R)



LC-OFC巻線を採用して、さらに音質を磨いた
レーザーアモルファス録再ヘッド搭載。

録再ヘッドには、コア材に優れた磁気特性をもつアモルファス合金を使用し、さらにヘッド巻線にはLC-OFCを採用して音質を一段と磨き上げました。LC-OFCは、純度99.995%以上の無酸素銅の結晶を巨大化し、容量リアクタンスによるひずみを激減させたもの。優れたSN比と高域特性をもつこの高性能ヘッドが、デジタルソースのもつ高いクオリティを鮮やかに捉えます。

2タイプのテープ走行モードがワンタッチで選べる

ディレクションモード・スイッチを装備。

R303は、使用目的に合わせて、2タイプのテープ走行モードがワンタッチで選択可能。(二)モードでは片面だけの録音/再生、(三)モードでは両面にわたる録音とBGMリスニングなどに便利な両面連続再生が行えます。

●ドルビーNR・Bタイプに加え、よりダイナミックレンジの広い録音/再生を可能にするCタイプも装備しました。

●カセット収納部に、テープ走行の安定性をさらに高める

新機構ツインロック・カセットホールディングメカニズムを採用。これにより、カセットハーフをより確実にホールドして、テープ走行中のハーフのガタつきや振動を軽減。モジュレーション・ノイズの発生が減少し、一段と忠実度の高い録音/再生を可能にしています。

●CUE & REVIEW機能を装備。STOP状態から、PAUSEを押して早送り、早戻しをすると録音内容を素早く確認でき、聴きたい曲を探るときやテープ編集時などにとても便利な機能です。

●FMエアチェック時などに、曲間の長さをそろえた録音が簡単にできるオートスペースつきREC MUTE。

リバーズ・カセットデッキ

TC-R303 ¥39,800

主な仕様 ●ヘッド：消去1、録再1 ●モーター：DCサーボモーター1、DCモーター1 ●SN比：※56dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット)、71dB (ドルビーNR・Cタイプ、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●周波数特性：※30~15,000Hz±3dB (METAL-Sカセット) ●周波数範囲：※20~16,000Hz (METAL-Sカセット) ●フリップラッター：※±0.1%Wpeak、0.07%WRMS ●ひずみ率：※0.5% (METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×110(高さ)×255(奥行)mm ●重量：3.9kg ●消費電力：17W
※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

ドルビーHXプロの搭載など、"ES"シリーズにつながる音質重視の姿勢を貫いた録再オートリバーステッキです。

TC-R502は、"ES"シリーズの音質重視設計を継承し、さらに長時間録音/再生を可能にした録再オートリバーステッキ。テープの能力をフルに引き出せる録音レベルキャリブレーション機能やドルビーHXプロの搭載など、音質に、機能に、高い完成度を誇ります。

●正確なテープ録音感度調整が簡単にできる録音レベルキャリブレーション機能 ●録音能力を高め、音の定位感、解像力を向上させるドルビーHXプロ ●LC-OFC巻線レーザーアモルファス録再ヘッド ●ドルビーNR・B-Cタイプ ●クイックオートリバー機能 ●AMS、ブランクスキップ、ミュージックスキャン ●別売ユニットRM-88(¥10,000)によるワイヤレスリモコン可能 ●ソニーのプレーヤー、CDプレーヤーとのシンクロプレイ可能



リバーズ・カセットデッキ

TC-R502 ¥69,800

主な仕様 ●ヘッド：消去1、録再1 ●モーター：DCサーボモーター1、DCモーター1 ●SN比：※56dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット)、72dB (ドルビーNR・Cタイプ、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●周波数特性：※30~17,000Hz±3dB (METAL-Sカセット) ●周波数範囲：※20~18,000Hz (METAL-Sカセット) ●フリップラッター：※±0.07%Wpeak、0.05%WRMS ●ひずみ率：※0.5% (METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×105(高さ)×285(奥行)mm ●重量：4.7kg ●消費電力：17W
※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

(R)

音質、機能、操作性でツインデッキがここまで進化。 スーパーバイアス方式、ツイン・ドルビーシステムなど、 すべてに最高峰をめざしたツイン録再リバーブ機です。

WR950は、テープエンジョイ派に贈るツイン録再リバーブデッキです。LC-OFC巻線を採用したレーザーアモルファス録再ヘッド、スーパーバイアス方式などによる音質重視設計、そして、贅沢なほどの多彩な機能を備え、すべてにツインデッキの最高峰をめざしました。テープ編集、リスニングに、素晴らしいテープサウンドを、シンプル操作で思いきり使いこなせます。

(WR)



LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドをはじめとする音質重視設計。

A・B両デッキに、LC-OFC巻線を採用して完成度を一段と高めたレーザーアモルファス録再ヘッドを搭載。デジタルソースのクオリティが鮮やかに捉えます。また、ハイスピード・ダビング時の音質を向上させるスーパーバイアス方式の採用など、音質重視設計を貫きました。

ハイスピード・ダビング時もドルビー変換可能。

A・Bデッキ独立ツイン・ドルビーシステム。

WR950は、A・BデッキそれぞれにドルビーNRシステムを装備。B、Cタイプ、そしてOFFの3ポジションで、両デッキ独立に設定できます。例えば、A・Bデッキ同時録音で、BタイプとCタイプの2種類のライブラリーを1度につくる。また、Cタイプ録音したテープを、ウォークマン・リスニング用にBタイプに変換してダビングするクロスドルビーNRダビングも可能。目的に合わせたNR録音が手軽に楽しめます。しかも、それぞれのドルビーNR回路には、ノーマルスピード時とハイスピード時の2系統の回路を装備。ハイスピード・ダビング時にも自由にドルビー変換可能です。

12キー・ダイレクト選曲16曲メモリーRMS機能と、再生状況がひと目でわかるRMSディスプレイ。

Aデッキには、片面の収録曲12曲目までを最大16プログラムまでメモリーできるRMS機能を装備。選曲は、12キーで曲順をワンタッチ指定。あとはSTARTキーを押すだけの簡単操作です。もちろんプログラム曲のハイスピード・ダビングもでき、オリジナルテープを素早くつくれます。また、ディスプレイ切替えキーまたは12キーを押せば、ピークレベルメーターがRMSディスプレイに変化。RMS再生の進行状況がひと目でわかります。さらにチェックキーでプログラム曲順の確認も可能です。



A・B両デッキの操作ができるワイヤレスリモコン。

A・Bデッキどちらも操れるワイヤレスリモコンRM-950が付属。基本操作に加え、リニア電子カウンターのリセット、メモリー、A/B切替も手元で行えます。

A・Bデッキ独立カウンターのリニア電子カウンター。

A・Bデッキそれぞれのテープ走行量を独立カウントする、分秒表示(デジタル)の減算機能つきリニア電子カウンターを搭載。A・B切替えて各デッキおよその走行量を表示し、同時録音やダビング中も、それぞれのデッキのテープ走行量がすぐ確認できます。

ツインREC・リバーブ・カセットデッキ

TC-WR950

¥95,000 (ワイヤレスリモコン RM-950付属)

主な仕様 ●ヘッド: 消去2、録再2モーター: DCサーボモーター2、DCモーター2 ●SN比: ※56dB (ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット)、72dB (ドルビーNR-Cタイプ、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●周波数特性: ※30~17,000Hz±3dB (METAL-Sカセット) ●周波数範囲: ※20~18,000Hz (METAL-Sカセット) ●ウォークラッター: ※±0.07%Wpeak、0.05%WRMS ●ひずみ率: ※0.5% (METAL-Sカセット) ●大きさ: 430(幅)×135(高さ)×285(奥行)mm ●重さ: 5.9kg ●消費電力: 27W ※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

テープ編集、長時間録音/再生に便利な機能群。

HIGH/NORMALの2スピードダビング: ノーマルスピードに加え、ハイスピードでのシンクロダビングが可能です。
オートポーズ機能: 選曲しながらのダビングがより簡単な操作で行えます。(ノーマルスピード時) AMS/ブランクスキップ機能: 再生中に約10秒以上の無信号部分があると早送り、次の曲の頭から再生するブランクスキップ。ノーマルスピード・ダビング時は、再生側テープの10秒以上の無信号部分を自動的に5秒間に短縮したダビングテープがつくれます。また、AMS機能で、再生中の曲や次の曲の頭出しもとても簡単です。
DUBBING LEVEL ボリューム: ノーマルスピード、ハイスピードいずれの場合にも、テープの性能に合わせたダビングレベルに調整できます。また、フェード・イン/アウトの操作も可能です。●片面だけの録音/再生(=)、両面1サイクル録音/連続サイクル再生(=)、A・Bデッキのリレー動作による連続両面録音、および連続リピート再生(RELAY)の3モードが選択可能
●テープ走行状態を、オレンジ(STOP、FF、REW.)、グリーン(PLAY.)、レッド(REC)の3色で表示するディレクションインジケーター ●クイックリバーブ機能 ●12セグメント×2chのダブルインジケーション方式FLピークレベルメーター ●TYPE I/II/IVのオートテープセクター ●オートプレイ、カウンター連動メモリーストップ/プレイ ●オートスベースつき REC MUTE ●別売タイマーによる留守録音/目覚まし再生 ●出力可変ヘッドホン端子

スーパーバイアス方式をはじめ音質重視設計を徹底。 ハイクオリティなテープ編集から長時間リスニングまで、 簡単&軽快な操作で楽しめるツインリバーズ機です。

WR750は、テープエンジョイ派のためのハイクラスなツインリバーズデッキ。
LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッドやスーパーバイアス方式など、上級機WR950の音質重視設計を継承しました。
テープ編集から長時間リスニングまで、ツインデッキならではの多彩な機能を、すばらしい音質とシンプルな操作性で楽しめます。

(WR)



LC-OFC巻線レーザーアモルファスヘッド&スーパーバイアス方式による音質重視設計。
Bデッキの録再ヘッドに、LC-OFC巻線を採用して音質を一段と磨き上げたレーザーアモルファスヘッドを搭載。デジタルソースの録音/再生からダビングまで、すばらしいSN比と高域特性に 대응します。また、ハイスピード・ダビング時に音質を大きく改善する独自の<スーパーバイアス>方式の採用で、オリジナルテープのクオリティをフルに生かした高音質なダビングが可能です。

ハイクオリティなテープ編集がさらに

簡単な操作で楽しめる多彩なオート機能。

オートスタンバイ機能：ノーマルスピードでのダビング中にAデッキを操作すると、Bデッキは自動的に録音ポーズ状態に。ポーズ解除で再びダビングを始め、不要な曲を飛ばしたり選曲しながらの編集に便利です。

オートポーズ機能：ノーマルスピードでのダビング時に、Aデッキは1曲の再生終了ごとにストップ、Bデッキは録音ポーズ状態待機。1曲ごと選曲しながらのテープ編集がより簡単な操作で行えます。

AMS/ブランクスキップ機能：再生中に約10秒以上の無信号部分があると自動的に早送りをして、次の曲の頭から再生を始めるのが「ブランクスキップ」機能。ノーマルスピード

でのダビング時にスイッチONにしておけば、オリジナルテープの10秒をこえる無信号部分を自動的に5秒間に短縮、曲間のそろったダビングテープが作れます。また、再生中の曲や次の曲の頭出しが素早くできるAMS機能も装備し、選曲がスピーディに行えます。

ハイスピード・ダビング機能をはじめ、ツインリバーズデッキならではの便利機能。

HIGH/NORMALの2スピードダビング：ノーマルスピードに加え、ハイスピードでのシンクロダビングが可能。AデッキからBデッキへ、オリジナルテープの録音内容を簡単操作で素早くダビングできます。

ディレクションモード・スイッチ：片面だけの録音/再生(→)、両面1サイクル録音/再生(↔)、両面1サイクル録音/連続1サイクル再生(↺)の3モードが選べます。この

機能により、ダビング時の「つなぎ録り」、「テープのトップ合わせ」などのテープ編集が簡単に楽しめます。また、モードでは、A・Bデッキのリレー動作による連続リピート再生も可能です。

●カセットハーフをしっかりと固定し、テープ走行を安定させるツインロック・カセットホールディングメカニズム採用●クイックリバーズ機能(Bデッキ)●ドルビーNR・B・Cタイプ●オートテープセレクトター(Aデッキ)、マニュアルテープセレクトター(Bデッキ)●見やすいA・Bデッキ独立のテープオペレーション・インジケータ●12セグメント×2chのLCD(液晶)ピークレベルメーター●別売ユニットRM-88(¥10,000)によるワイヤレスリモコン可能●別売タイマーによる留守録音/目覚まし再生●ソニーのプレーヤー、CDプレーヤーとのシンクロプレイ可能●ヘッドホン端子

ダブルリバーズ・カセットデッキ

TC-WR750 ¥59,800

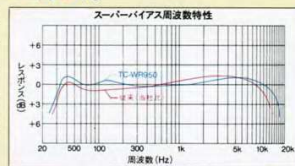
主な仕様 ●ヘッド：再生1(Aデッキ)、消去1、録再1(Bデッキ) ●モーター：DCサーボモーター2、DCモーター2 ●SN比：※56dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METAL-Sカセット)、71dB(ドルビーNR-Cタイプ、ピークレベル、METAL-Sカセット) ●周波数特性：※30~15,000Hz±3dB(METAL-Sカセット) ●※周波数範囲：20~16,000Hz(METAL-Sカセット) ●ワウ・フラッター：※±0.1%Wpeak, 0.07%WRMS ●ひずみ率：※0.5%(METAL-Sカセット) ●大きさ：430(幅)×135(高さ)×275(奥行)mm ●重量：5.0kg ●消費電力：22W ●※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

210kHz<Super Bias>

ハイスピード・ダビング時の音質を大きく改善した、<スーパーバイアス>方式。

テープスピードを2倍にすると、音楽信号の周波数も2倍、10kHzの信号は20kHzになります。このため、従来のハイスピード・ダビングでは、周波数の高い音楽信号の高調波成分が、バイアス電流の周波数(105kHz)に近づきビート発生を招くため、高域の周波数特性を抑える必要がありました。そこで、ソニーは、バイアス周波数を従来の2倍、210kHzに設定した<スーパーバイアス>方式を開発。ツインカセットデッキTC-WR950/WR930/WR750の3モデルに採用しています。これにより、ハイスピード時のビート発生

が大幅に減少することから、高域まで素直に伸びた周波数特性と広いダイナミックレンジが得られ、オリジナルテープのクオリティを生かしたダビングが可能。ダビング編集のハイスピード化と、高音質化を見事に両立させました。



曲を好きな順序に並びかえたRMSダビング編集まで可能。機能豊富なミニコンポサイズのデッキ。

ウォークマンなどヘッドホンステレオ用のテープを作る、好きな曲だけに編集し直す、こういったことをいとも簡単にやってしまうのがTC-AV1。同じ内容のテープがすばやく作れるハイスピード・ダビング。BGM派には2つのデッキを連続演奏させるリレープレイ機能。そして、ソニーのCDプレーヤーやレコードプレーヤーとジョイントすれば、プレーヤーの演奏開始にタイミングを合せて録音開始、などなど、テープ・オーディオをますますおもしろくする機能がはいっています。

《TC-AV1》のアウトライン

●再生専用のAデッキと録音/再生兼用のBデッキを搭載したツインデッキ構成。しかも、両デッキともオートリバース・メカニズム●主要操作ボタンは軽いタッチで動作するフルジョグ・メカニズム●テープ走行量を分・秒単位でカウントするリニア電子カウンターを搭載。このカウンターは切替えによりA/Bどちらのデッキにも使用可能●12セグメント×2chのピークレベルメーター採用●A/Bどちらのデッキともテープのタイプを自動判別するオートテープセクター●ソニーのAVフォーメーションをはじめミニコンポにピッタリのコンパクトサイズ

《TC-AV1》で聴く

●オートリバースで1本のテープを何回も繰り返し再生可能●一方のデッキが終了するともう一方のデッキへバトンタッチするリレー再生可能●いま聴いている曲、あるいは次の曲の頭が簡単に呼び出せるAMS装飾●約10秒以上無音部が続くと自動的に早送りされた曲を探すブランクスキップ再生可能●早巻き後、自動的に再生をはじめるオートプレイ機能●デッキAの片面12曲目までの中から最大16回までランダムに曲順をプログラム



ダブルリバース・カセットデッキ

TC-AV1 ¥54,800 新製品

主な仕様 ●ヘッド：再生1(Aデッキ)、消去1、録再1(Bデッキ) ●モーター：DCサーボモーター2、DCモーター2 ●SN比：※56dB(ドルビーOFF、ピークレベル、METAL Sカセット)、66dB(ドルビーNR Bタイプ、ピークレベル、METAL Sカセット) ●周波数特性：※30～16,000Hz±3dB(METAL Sカセット) ●周波数範囲：※20～17,000Hz(METAL Sカセット) ●ワウ・フラッター：※±0.07%W peak, 0.05%WRMS ●ひずみ率：※0.5%(METAL Sカセット) ●大きさ：355(幅)×130(高さ)×345(奥行)mm ●重さ：4.9kg ●消費電力：18W

※印は、日本電子機械工業会(EIAJ)規格に定められた測定法による値です。

して演奏するRMS演奏が可能●カウンター0.00で自動的にストップするメモリーストップ、さらに再生をはじめるメモリープレイ可能

《TC-AV1》で録音する

●片面の録音が終了すると自動的に反対面の録音に移る両面録音が可能●ヒスノイズの少ない録音ができるドルビーNR・Bタイプ装備●録音中に押すと約4秒の無音部を作って録音ポーズ状態になるオートスペースつきREC MUTE。曲間をそろえるのに便利●ソニーのCDプレーヤーやレコードプレーヤーがスタートすると録

音開始、ストップすると録音ポーズになるシンクロプレイ可能●別売のタイマーを使って留守録音や目覚まし再生可能

《TC-AV1》でダビングする

●AデッキからBデッキへのダビングはノーマルスピードに加え、ハイスピード・ダビングも可能●片面が終了すると自動的にリバースし、両面にわたる連続ダビングも可能●ノーマルスピードでのダビング時に、Aデッキは1曲終了することにストップ。Bデッキは録音ポーズ状態で待機してくれ、好きな曲を選びながら編集できるオートポーズ機能●RMSプログラミングしてのダビングも可能

ソニーがもてるデジタルオーディオ・テクノロジーの粋を結集。DATデッキの第1号機、誕生。

従来のカセットの約半分という小さなテープで2時間の長時間録音を実現。しかもCDと肩を並べる高音質で、高速・自在なサーチ機能もそなわる——これが次世代の録音方式＝DAT(デジタルオーディオテープ)です。DTC-1000ESは、このDATの魅力を最大限に生かすため、ソニーがもてる最先端テクノロジーを結集。音質・機能・操作性すべての面で、将来にわたるDATデッキのリファレンスを指標します。●経年変化を極力減少させた4DDメカニズム、高硬質アルミ合金によるベースユニット採用●オーディオ部/デジタル部をトランスの段階から独立させた強力電源部●各セクションは相互干渉を断つたセパレート構造●スターHDのマニュアル書き込みと、リハーサル機能



DAT デジタルオーディオ・テープデッキ
Digital Audio Tape

DTC-1000ES ¥200,000 (ワイヤレスリモコンRM-R1付属)

主な仕様 ●型式：デジタルオーディオテープシステム ●チャンネル数：2チャンネルステレオ ●サンプリング周波数：48kHz, 44.1kHz*1, 32kHz*2 ●量子化：16ビット直線 ●エラー訂正方式：ダブルエンコード/トリプル冗長 ●変調方式：8-10変換 ●周波数特性：2～22,000Hz±0.5dB ●ダイナミックレンジ：90dB以上(録音時、エンファシスOFF) ●SN比：(92dB以上)(録音時、エンファシスOFF) ●ワウ・フラッター：測定限界(±0.001%Wpeak)以下 ●大きさ：470(430＝サイドフッド含まず)(幅)×100(高さ)×420(奥行)mm ●重さ：約12kg ●消費電力：32W

*1：再生のみ、*2：DIGITAL INのみ録音、再生。注：スペックはサンプリング周波数48kHz時の値です。

●ハイスピード・ダビング機能付きのツインデッキをテレビと並べて置いた場合、テレビを見ながらのハイスピード・テープ編集(録音)はできません。
●あなたがラジオ放送やレコード、録音物などから録音したものは個人として楽しむなどの場合は著作権法上、権利者に無断では使用できません。●仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。●カタログ掲載製品のなかには品薄・品切になるものもありますので販売店にてお確かめの上お選びください。●カタログと実際の製品の色とは印刷の関係で多少異なる場合もあります。●ドルビーとDマークは、ドルビー研究所の登録商標です。

●この商品には保証書がついています。お求めの販売店で所定事項を記入した保証書を必ずお受けとってください。

●テープレコーダーの補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川6-7-35
ショールーム 東京/銀座数寄屋橋ソニービル
大阪/南区心斎橋筋ソニータワー
お客様ご相談センター 東京/(03) 448-3311
大阪/(06) 251-5111
名古屋/(052) 232-2611

このカタログの内容について、詳しく知りたい方は、お近くのソニー商品販売店におたずねになるか、当社のお客様ご相談センターにお問合せください。

1987年11月印刷 BVMF-1 Printed in Japan. (84990050)

ソニー商品販売店

'87.11

カタログの記載内容：1987年11月現在

